

企画提案作品について

1 概要

「(仮称) 都島区地震本」企画編集業務委託募集要項の「2 (1) 事業目的と概要」及び仕様書の「5 編集方針」を踏まえ、当区から提供する次の2から5の課題をもとに、(仮称) 都島区地震本を想定した誌面を作成すること。課題②③④は、イラストを用いて特にすっきりとわかりやすい誌面とすること。

2 課題① 表紙 (P 1)

- (1) 本のタイトルは、ロゴの形式を含め自由に作成すること(「(仮称) 都島区地震本」にとらわれなくてもよい)。手に取って読んでみたいと思わせるデザインとすること。都島区役所が発行したとわかるようにすること。

3 課題② 見開き (P 2～3)

- (1) ページのタイトル

災害時に断水していたら

- (2) 目的

断水時には様々な問題が生じるが、特に重要な排泄に備えるための啓発を目的としたページ

- (3) 原稿

災害が起こるとトイレが使えなくなるかもしれない

45 リットル程度のごみ袋と新聞紙を使って簡易トイレを作れる

便座をあげ、ごみ袋をかぶせてから、便座の上から2枚目のごみ袋をかぶせる

適当にやぶいた新聞紙を丸めてごみ袋の中に入れる

2枚目のごみ袋だけを取り出して、きつく口を結ぶ

大阪市のルールを守って処理する

和式便所の場合は段ボール箱を代用

便利な排便キットも販売されているので家庭にあった数量を用意しておくで安心

- (4) フッター

ページ数を数字で入れること。場所は問わない。

4 課題③ (P 4)

- (1) ページのタイトル

自宅にとどまる避難が一番

- (2) 目的

大規模災害が発生した当初の災害時避難所は、非常に混雑し感染症などのリスクも高くなるため、自宅にとどまることの優位性の啓発を目的としたページ

(3) 原稿

災害時避難所は混雑するかもしれない

感染症やプライバシーの確保も課題

自宅で避難生活を送れるようにできることを確認

家具の固定や配置を見直しておく

1週間分の飲み水と食べ物を備蓄しておく

カセットコンロ、排便キットや簡易トイレを準備しておく

倒壊の不安がある場合は、耐震診断や耐震改修も検討

(4) フッター

ページ数を数字で入れること。場所は問わない。

5 課題④（P 5）

(1) ページのタイトル

自分が住んでいる場所の危険度を知る

(2) 目的

ここでは、災害の一つである水害に着目し、水害ハザードマップを確認し自分が住んでいる場所の浸水リスクを確認しておくことが重要であることの啓発を目的としたページ

(3) 原稿

大雨や強い台風によって住んでいる場所が水に浸かってしまうかもしれない

あなたの家は大丈夫？水害ハザードマップで確認

水害ハザードマップは区役所で配布している

ホームページでも確認できる

確認が困難な方は区役所の防災担当に電話を 06-6882-9902

(4) フッター

ページ数を数字で入れること。場所は問わない。

6 原稿について

課題②から④の各ページのタイトル及び原稿については、より伝わりやすくするため、趣旨が変わらない範囲で適宜変更できるものとする。

誌面作成に使用できる都島区マスコットキャラクター都希（とっきー）のデータは別途送付するが、掲載は自由とする。都島区マスコットキャラクター都希（とっきー）は必要に応じてポーズや衣装等の加工を可能とする。